

資料編

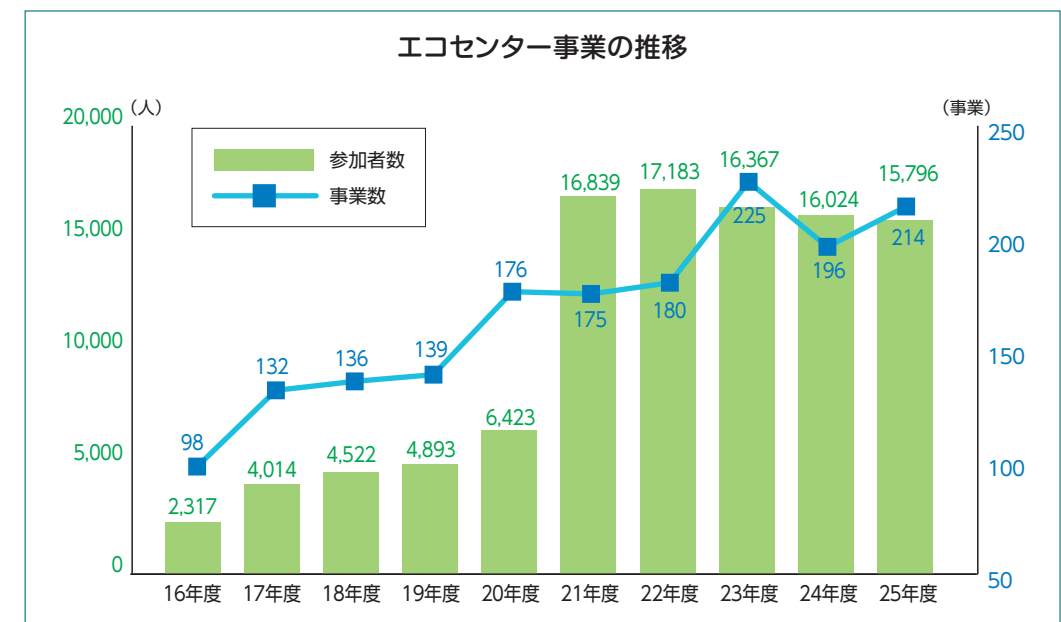
1. えどがわエコセンター 数字で見る10年
2. アンケート調査 概要と結果
3. 役員名簿
4. 組織図

1. えどがわエコセンター 数字で見る10年

えどがわエコセンターは、平成16年度のスタート以来区民・事業者・学校・行政など多くの皆様とともに歩んでまいりました。

事業数の推移や調査事項など、活動の一端を数字で報告します。

① 事業数・事業参加者数

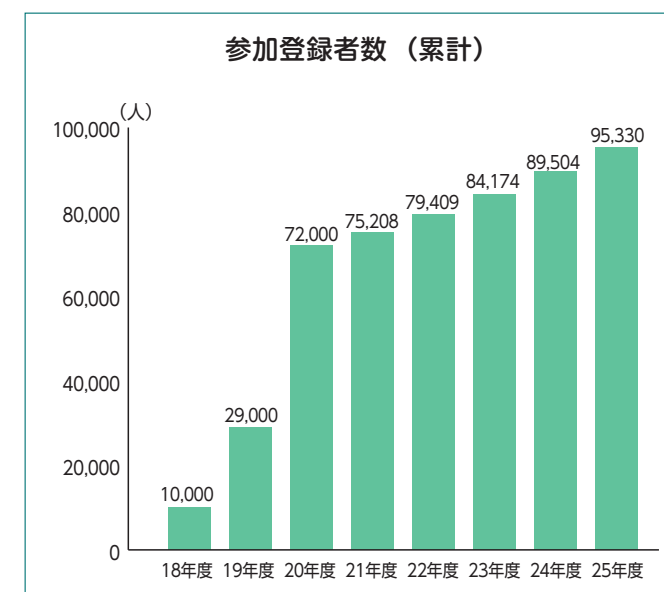


年間の事業数は年々伸びてきましたが、ここ数年は約200件となっています。

事業参加者数は事業数の伸びに連動して増加しています。

特に平成21年度より地域イベントに参加したことで、参加者数が大きく増加しました。10年間の累計では、事業数が1,671、事業参加者数は104,378人となっています。

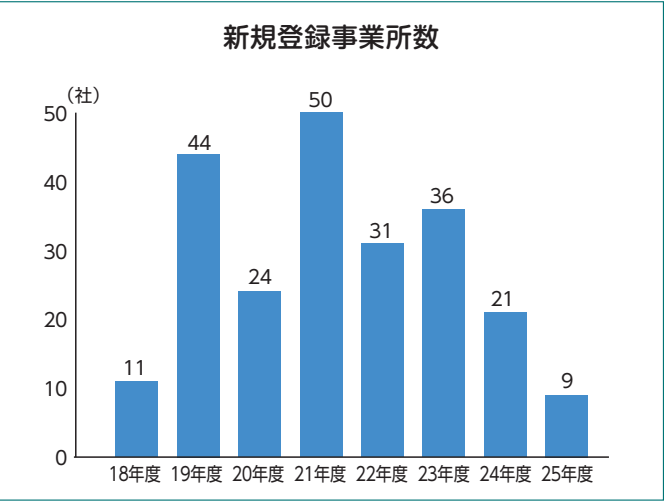
② もったいない運動えどがわ



平成18年度にスタートしたもったいない運動えどがわの認知度は平成24年度の区民世論調査で5割を超えました。平成26年度の調査では何らかの取り組みをしている区民は9割を超えています。参加登録者数は毎年継続的に増加し、平成25年度までに95,330人に達しました。

なお、平成20年度に登録者が大幅に増加しているのは、全小・中学校での取り組みを加えたことによるものです。

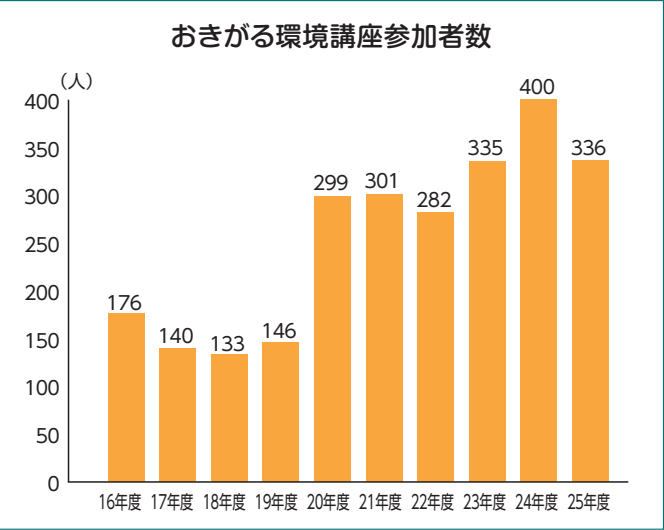
③ エコカンパニーえどがわ



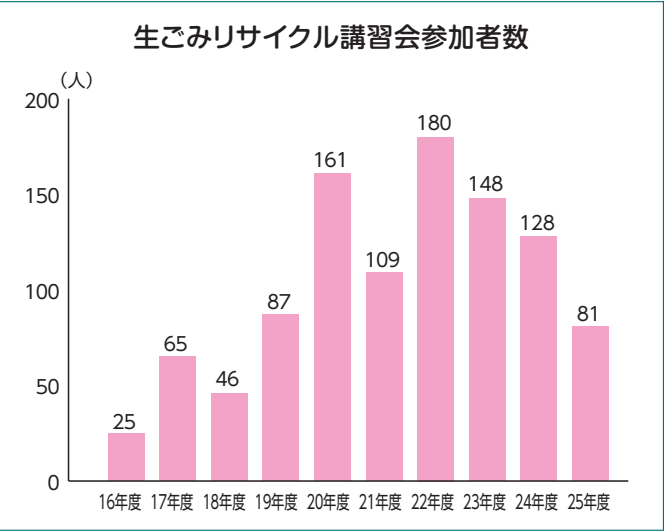
平成18年度に江戸川区版環境マネジメント制度として、当初11事業所からスタートしました。年々企業の環境経営やCSRの重要性が認知され、登録事業所数は増加し累計で226事業所となりました。

④ 人材育成事業

えどがわエコセンター設立時より、「エコタウンえどがわ」を実現するための人づくり、仲間づくりに取り組んでいます。



環境学習リーダー養成講座としてスタートした環境学習講座は、区民がより気軽に参加できるよう平成20年度より「おきがる環境講座」と名称を改めました。平成25年度までに2,548人の区民が講座を受講し、修了後は様々な形で環境活動に関わっています。



「生ごみリサイクル講習会」は、家庭ごみの約5割を占める生ごみをたい肥化することで、ごみの減量やCO₂の削減を目指しています。平成25年度までに1,030人の区民が講習会に参加し、実践活動をしています。

⑤ 水辺の環境調査（環境モニタリング調査）

江戸川区内を流れる一級河川の荒川・江戸川・新中川を毎年順番で調査します。東なぎさ及び外海は毎年調査しています。詳細な調査結果は、えどがわエコセンターまたは江戸川区役所ホームページで確認できます。

平成16年度		
	荒川	東なぎさ
植物	55科 308種	23科 51種
鳥類	22科 42種 5,223羽	9科 20種 11,864羽
底生生物	23科 32種	
魚類	11科 28種	

平成17年度		
	新中川	東なぎさ
植物	63科 314種	31科 81種
鳥類	19科 42種 3,770羽	11科 22種 23,830羽
底生生物	19科 27種	
魚類	6科 18種	

平成18年度		
	江戸川	東なぎさ
植物	68科 349種	32科 83種
鳥類	29科 43種 5,323羽	12科 25種 3,449羽
底生生物	33科 44種	
魚類	7科 25種	

平成19年度		
	荒川	東なぎさ
植物	63科 349種	56科 239種
鳥類	22科 41種 3,197羽	11科 30種 2,394羽
底生生物	30科 45種	
魚類	9科 27種	

平成20年度		
	新中川	東なぎさ
植物	60科 283種	33科 87種
鳥類	18科 27種 2,678羽	16科 36種 3,266羽
底生生物	25科 40種	
魚類	6科 21種	

平成21年度		
	江戸川	東なぎさ
植物	67科 325種	37科 90種
鳥類	22科 44種 3,153羽	14科 26種 2,668羽
底生生物	27科 43種	
魚類	9科 24種	

平成22年度		
	荒川	東なぎさ
植物	64科 315種	37科 87種
鳥類	21科 43種 1,951羽	13科 28種 2,280羽
底生生物	34科 44種	
魚類	7科 15種	

平成23年度		
	新中川	東なぎさ
植物	75科 283種	36科 86種
鳥類	14科 26種 886羽	15科 33種 3,695羽
底生生物	25科 39種	
魚類	7科 20種	

平成24年度		
	江戸川	東なぎさ
植物	70科 279種	36科 60種
鳥類	21科 44種 3,007羽	12科 28種 6,085羽
底生生物	34科 48種	
魚類	10科 26種	

平成25年度		
	荒川	東なぎさ
植物	66科 315種	36科 81種
鳥類	24科 44種 2,383羽	15科 29種 1,886羽
底生生物	31科 47種	
魚類	8科 17種	

2. アンケート調査 概要と結果

概 要

1. 目的

エコセンターに対する意識・評価・要望などを把握し、その結果を今後の運営に反映させるために実施。

2. 対象

- ① エコセンター会員（対象者213人 回答者101人）
※活動団体、エコカンパニー登録事業者は除く
- ② エコセンター団体会員（対象者20団体 回答者90人）
- ③ エコカンパニーえどがわ登録事業者（対象者225社 回答者90社）
- ④ 平成26年度講座等参加者（回答者804人）
- ⑤ 平成26年度もったいない運動参加者（回答者6,954人）

3. 期間

平成26年4月1日～11月30日

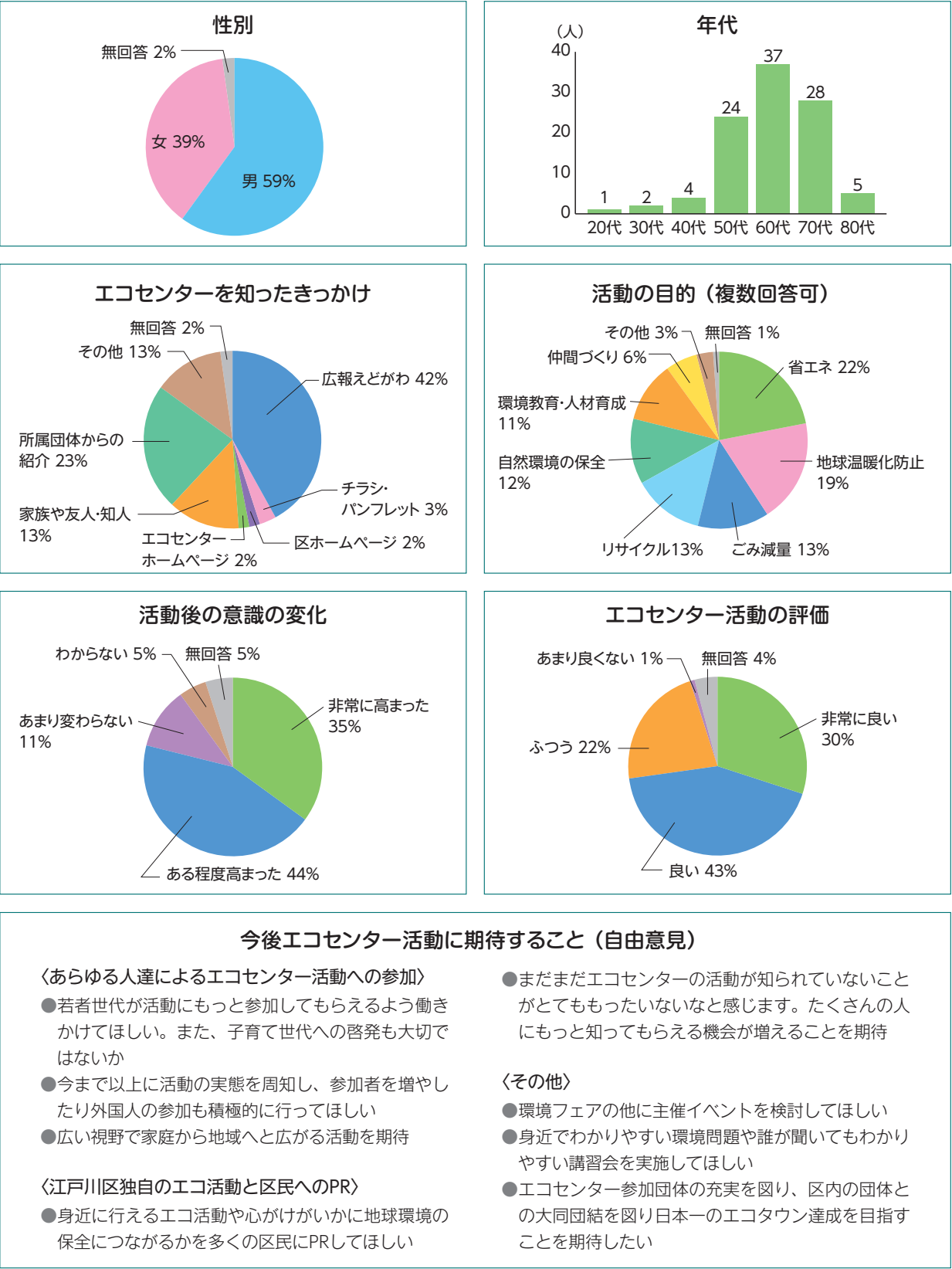
4. 調査方法

- ①②③ 調査票を対象者に郵送し、本人記入方式。回収は郵送回収と窓口回収及びファックスにて回収。
- ④ エコセンター講習会参加者に対して、講習会終了後、対象者に調査票を直接記入方式。
- ⑤ 地域イベント等で対象者に調査票を直接記入方式。

5. 自由意見

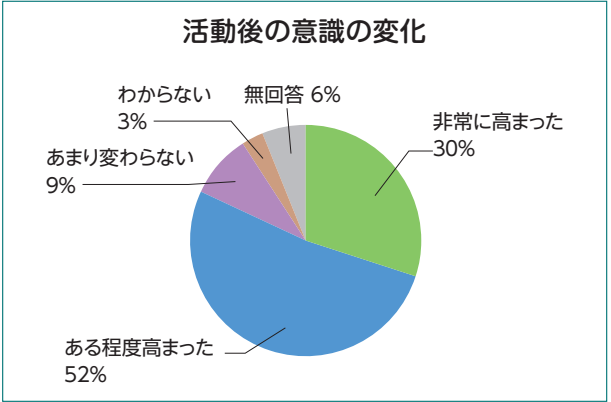
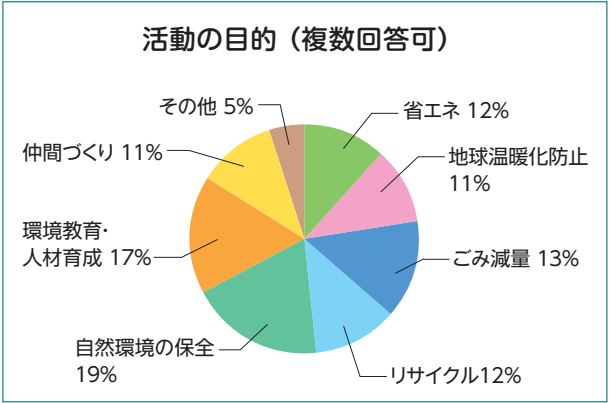
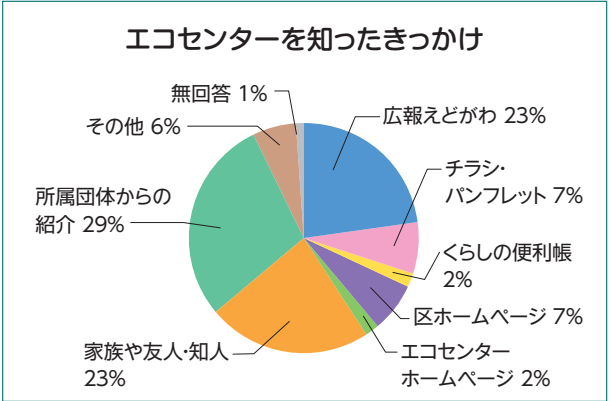
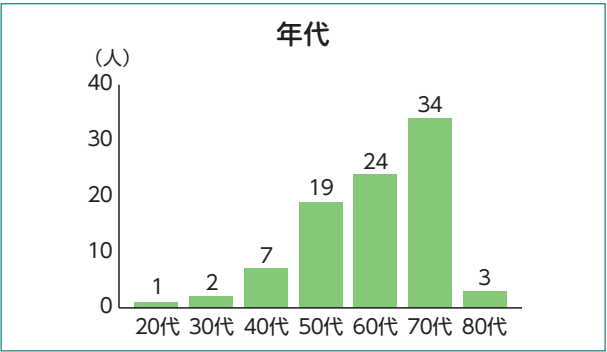
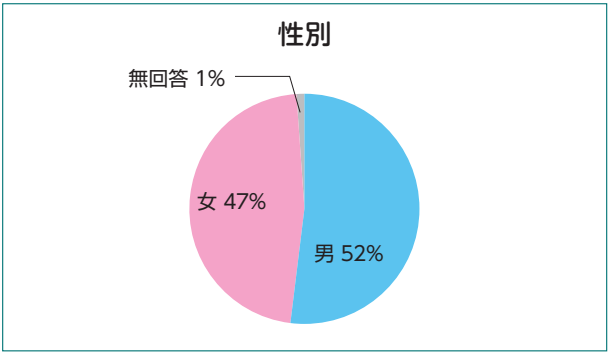
各アンケートの具体的な意見については、代表的なものを抜粋して掲載。

① エコセンター会員 結果・分析



- エコセンターを知ったきっかけは、広報えどがわが4割と最も多い
- 活動の目的は地球温暖化の防止をはじめ、主要な環境テーマ全般にわたっている
- 活動後の環境意識は約8割が高まっている
- エコセンター活動の評価は、非常に良い・良いが7割を超えている

② エコセンター団体会員 結果・分析



- エコセンターを知ったきっかけは、所属団体からの紹介、家族や友人・知人、広報えどがわが各2割を超えている
- 活動の目的は主要な環境テーマ全般にわたっている
- 活動後の環境意識は8割以上が高まっている

今後エコセンター活動に期待すること（自由意見）

〈エコセンターの広報・宣伝力の強化〉

- エコセンターの存在や団体活動をまだまだ知らない人がいるので、PRをどんどんしてほしい
- 団体活動をしているグループがもっと活動している姿をアピールしてほしい
- FMえどがわのみならず、J:COM江戸川等での積極的な認知活動の展開

〈他団体との連携強化〉

- エコセンター主導による複数団体の協働によるプロジェクトを立ち上げてほしい
- 行政組織（共育プラザ、くすのきカルチャーセンター、すくすくスクール、図書館など）との更なる連携強化
- エコカンパニーや地域（町会等）との協力による企画提案事業の推進

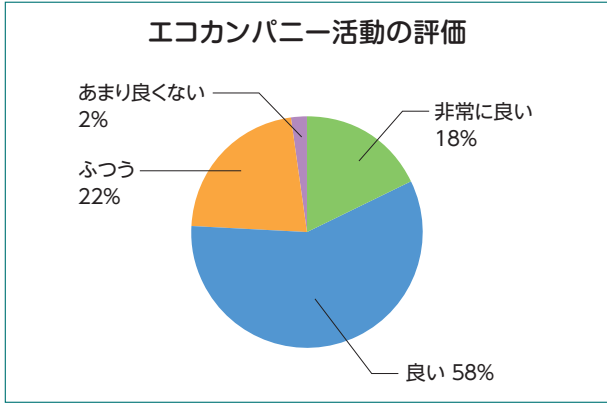
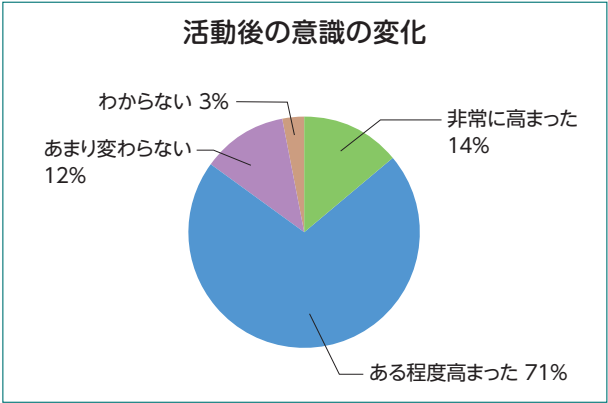
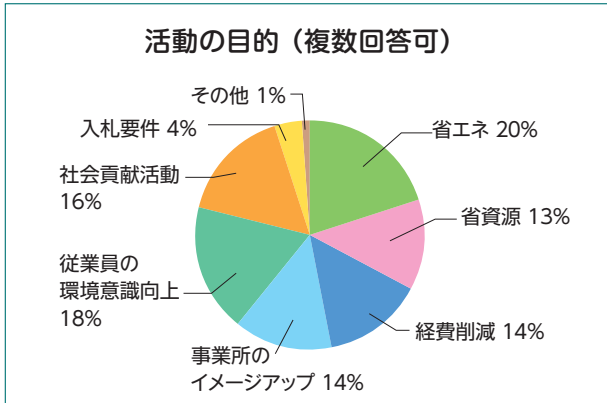
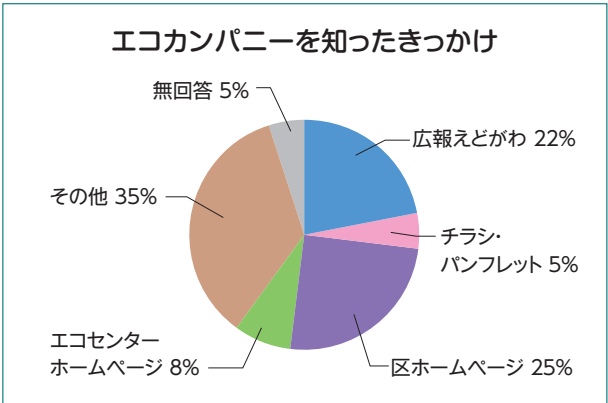
〈若い世代との共同参画〉

- 青少年向けセミナーの活動を増やしてほしい
- ボランティア活動などに興味のある若いメンバー確保に協力してほしい

〈その他〉

- 自然環境問題、生物多様性にもっと力を注いでほしい
- エコ活動は広範囲に及ぶため、地道な支援が必要である

③ エコカンパニーえどがわ 結果・分析



今後エコカンパニー全般に期待すること（自由意見）

〈エコカンパニーの認知度向上〉

- より多くの企業等がエコカンパニーに参加するような企画の検討や表彰制度の充実
- 事業所と連携しエコカンパニーの活動をPRするべき
- エコカンパニーが全国に知れ渡るとさらに力が入る

〈他事業者の事例の紹介〉

- 環境に対して先進的な取り組みをしている企業の事例を紹介してほしい

●業種、職種別のエコな取り組みや提案など教えてほしい

〈その他〉

- 連携、協働について中心的役割を一層強化してほしい
- エコ活動がそれぞれの事業所の経営面でも役立つよう交流や紹介の場を設けてほしい

環境問題に関して取り組んでいること、今後取り組んでいきたいこと（自由意見）

〈現在、取り組んでいること〉

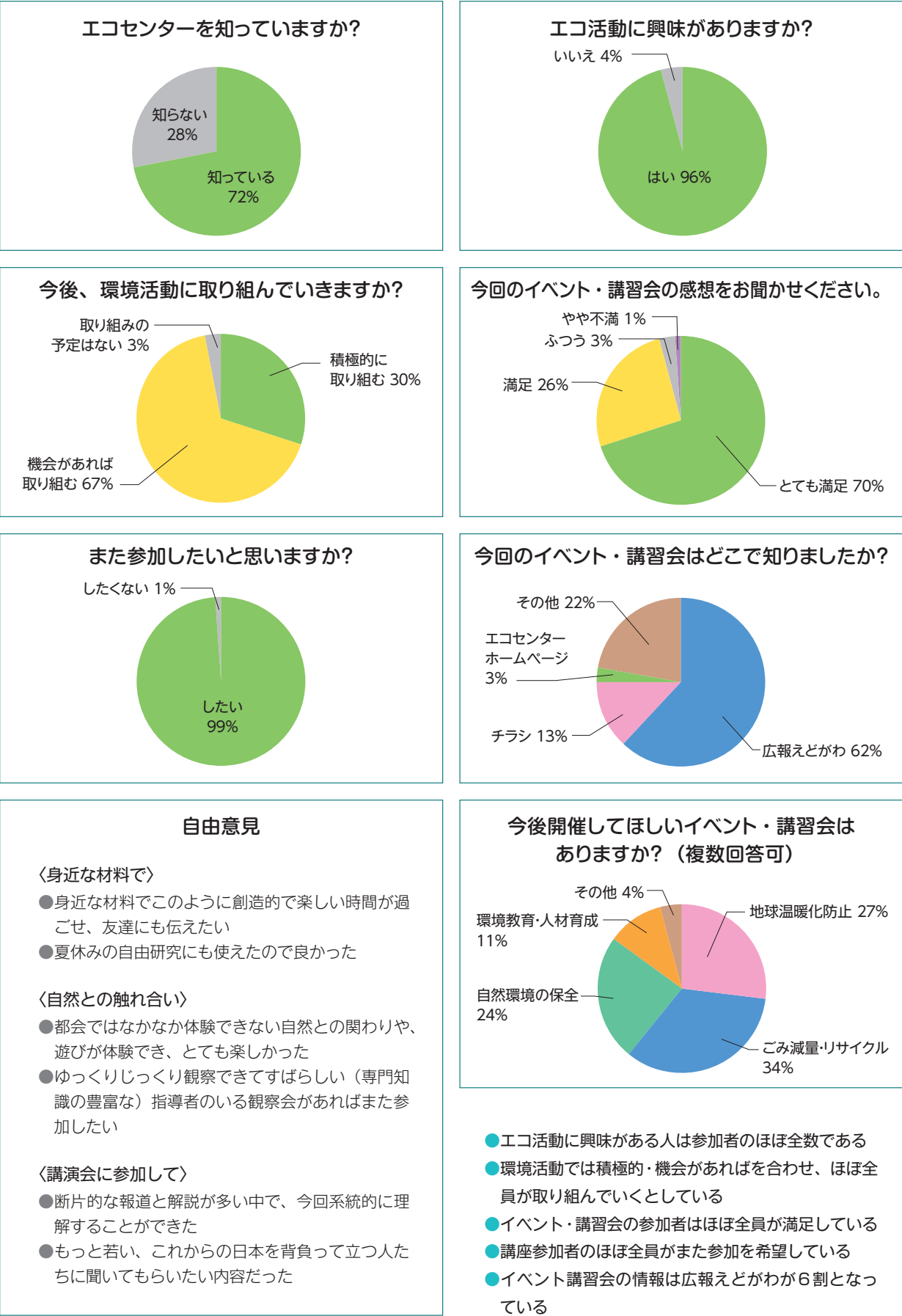
- 社内照明のLED化を実施した
- 社有車に低燃費車を導入した
- 従業員みんなで環境意識向上に向け話し合いをしている
- 出かける際は公共交通機関を利用するようにする

〈今後、取り組んでいきたいこと〉

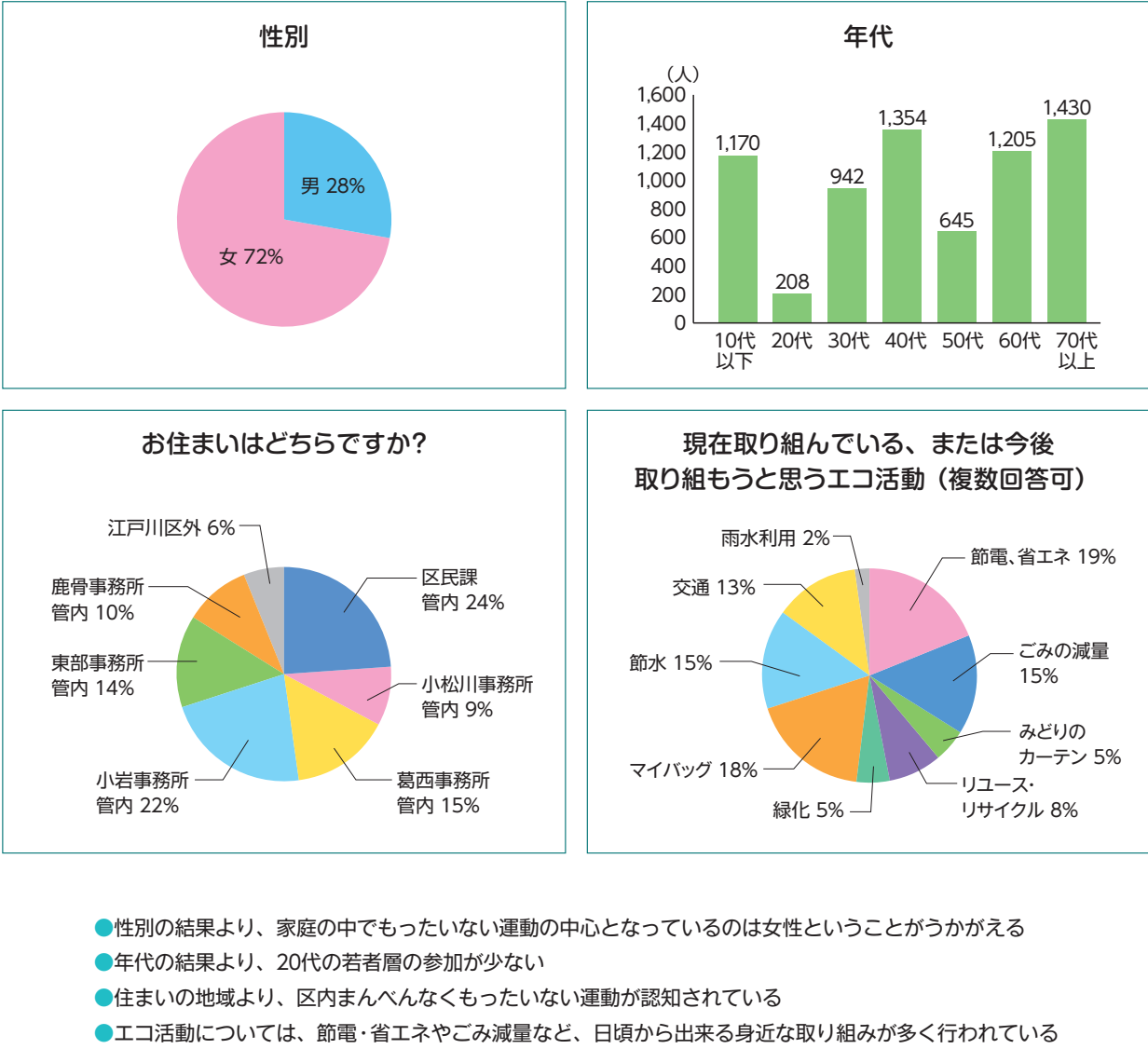
- より一層社会貢献活動（CSR）に取り組みたい
- 太陽光発電を取り入れたい
- より省エネ性能の高い機器への入れ替え
- 敷地周辺の植樹など緑化の推進していきたい

- エコカンパニーを知ったきっかけは、広報えどがわと区ホームページが2割を超え、エコセンターホームページが約1割となっている
- 活動の目的は、地球温暖化対策の他、従業員の環境意識の向上、社会貢献活動、経費の削減、事業所のイメージアップなどがあげられている
- 活動後の意識の変化は8割以上が高まっている
- エコカンパニー活動の評価は、非常に良い・良いが約8割となっている

④ 平成26年度講座等参加者 結果・分析



⑤ 平成26年度もったいない運動参加者 結果・分析



3. 役員名簿

① 設立当初役員

平成16年4月1日

理 事 長	岡島 成行				
副理事長	松本 藤隆				
常務理事	鈴木 稔夫				
理 事	松田 美夜子	佐々木 定治	木村 伸行	江原 春美	
	倉内 皓子	佐藤 正兵	市川 まり子	重杉 浩	
	富田 規男	山崎 求博	實方 健	原 信男	
監 事	杉本 英臣				

② 現役員

平成25年6月1日現在

会 長	岡島 成行				
理 事 長	小林 豊				
副理事長	大和地 弘一				
理 事	荒木 初美	木村 伸行	齋藤 智子	佐藤 正兵	
	島田 久市	末吉 潤一	滝本 実	中嶋 美南子	
	水上 泰輔	山崎 実	山本 敏彦	吉井 寛之	
監 事	松本 勝義				

4. 組織図

